４歳児６月第２週の週案

６月第２週　　年中　●組　担任保育教諭　●●●●

園児の姿	・先週はほぼ毎日検診や行事が入り、忙しい週であった。楽しい行事もあったが、普段の遊びが途切れたり遊ぶ時間が短くなったり、遊び込む頃に片付けになってしまうことも多かった。 ・友達とイメージを伝え合いながらごっこ遊びをしたり、お店屋さんを開店させたりする様子が見られた。また、泥遊びや色水遊びなどを通して友達との関わりができる場面も多く見られた。 ・泥遊びや泡遊びでは、数人の友達と見立てたり水を加えて感触を楽しんだりしてのびのびと取り組む子が多かった。水を使った遊びに心地よさを感じている子が多く見られた。	ねらい・内容	○自分の好きな遊びや友達を見つけて楽しむ ・自分のしたい遊びを見つけて取り組む ・友達や保育者と話をしながら一緒に遊ぶことを楽しむ ・自分のしたいことや困っていることを言葉で伝えようとする ○先生や友達と一緒に泥・泡や身近な自然に親しんで遊ぶ ・泥・泡や水に触れる心地よさを感じながら遊ぶ ・初夏の自然に興味をもつ

環境の構成・保育教諭等の援助

【環境の構成】

○泡遊び
・作った泡を友達と一つの容器に合わせたり、色水など組み合わせて自分なりに楽しんだりしている。自分で作る楽しさや心地よさを感じながら取り組み、その思いを保育者や友達と共有できる場にする。
・イメージ遊びにつながるようなものを用意しておく（ビニール袋、プラスチック容器、泡だて器など）。
・気温が高い日には保育者がホースでややダイナミックに水を扱うようにし、水遊びに無理なくつながるようにしていく。

○泥遊び（荒木田土）
・ドングリハウスを上手に用いてお店屋さんを楽しむ子がいる一方、場を独占しようとしてしまい、他者に対して排他的になる子もいる。トラブル時には保育者が遊びに加わりながら、友達と一緒に楽しめる方法を考えるようにする。
・十分な数の用具（シャベル、お皿、トレーなど）を用意する。

○再現遊び
・なかよし広場に設定する。やりたい役を自由に選んで取り組めるようにする。

○製作遊び
・ごっこ遊びなどに製作したものを使うことが多くなっている。園児同士が見せ合ったり、相談したり、教えたりしながら取り組む姿が見られるので、十分な数の素材を用意する。「教えて」や「ありがとう」などの簡単なやり取りが気持ちよく行えるように援助していく。

【保育教諭等の援助】

○ごっこ遊びは自分たちなりのイメージで楽しんでいる。保育者は、友達と関わりながら遊びたい思いに共感し、同じイメージの中で遊ぶ楽しさが感じられるようにしていく。
○いろいろな友達と関わりたいという思いが高まっている。取り組んでいる遊びでの会話をつなぐ手助けをしながら、関係を育てていくようにする。
○相手の思いに気付かなかったり、言葉が足りずに誤解を生んだり伝わらなかったりしてトラブルになることがある。気持ちを出して伝えられるよさが感じられるように丁寧に思いを聞いて、伝え合いの橋渡しをしていく。
○再現遊びは、年中児が中心となって全てのクラスの園児が繰り返し楽しんでいる。セリフのやり取りや、友達と同じ動きをすることを楽しむことができるように、保育者が一緒に活動を盛り上げていく。
○遊びの様子をよく見て、遊びの区切りがつくように盛り上げるなどする。また、次の遊びに移る時には、使い終えたものは片付けるように声を掛ける。

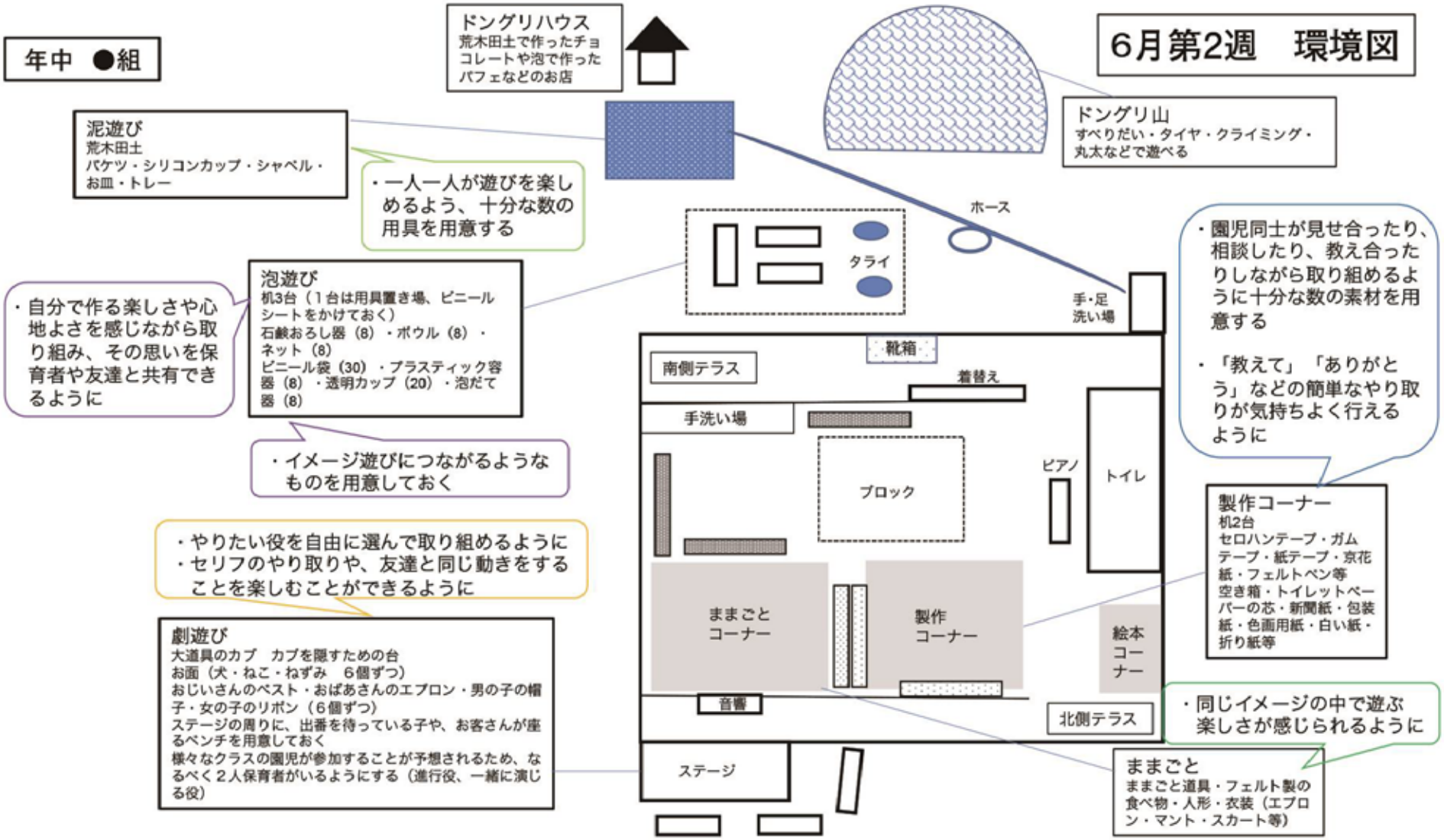
【主な行事･その他】

○防火避難訓練（５ 火）保育室からどんぐり広場に避難する。地震との避難の違いを確認する。
○内科検診（７木）
・お医者さんが心臓の音を聞けるように、静かに待つことを伝える。
・診察は自分の名前を名乗った後、胸、背中、のど（あ～と発声）の順で行われる。
○歌
○リズム

	４日（月）	５日（火）	６日（水）	７日（木）	８日（金）
	ふれあいの日代休	防火避難訓練９：３０（一斉） 給湯室から出火 どんぐり広場に避難		内科検診 9:30～ すずかけルーム 星９：４５　雪９：５５	
				参観者	

４歳児６月第２週　環境図

年中６月第２週　環境図



④５歳児 11 月第４週

59 頁にも掲載している週案です。作成のポイントは 56～58 頁も参考にしてください。

年長児では、保育教諭等が全て決めてしまうのでなく、保育教諭等が園児と共に活動を進めていき、それに伴って、環境の構成も園児と共に行っていく機会が多くなっていきます。

また、年長児においては園児が工夫したり試行錯誤したりするなど、その目的に向かうまでにいろいろな過程を経ることが大事です。５歳児頃の園児は、自分なりの目的や友達と同じ目的に向かって、その目的を実現していくために様々な遊びの展開をすることが予想されます。これまで経験したことを基にしながら、自分たちで必要なものを選んだり考えたりしながら遊びを展開していきます。また、目的を実現していく過程では、思い通りにいかないこともあるでしょう。そのようなときには繰り返し挑戦したり試したりする園児の姿も予想されます。そのためにも、園児一人一人が様々な用具と出会い、繰り返し試すことができるような余裕のある環境を構成していくことが求められます。

自分たちの遊びや生活がより充実したものとなっていくよう、園児同士が考えを伝え合ったり、受け入れ合ったりしながら、保育教諭等と共に、園児たちが自分たちで遊びの環境や生活の流れをつくり出していくことができるような環境を構成していきましょう。

５歳児 11 月第４週の週案・環境図を参照

５歳児 11 月第４週の週案

11 月第４週　　年長組　担任保育教諭　●●●●

園児の姿	○焼き芋をすることを楽しみに落ち葉集めをしている。年少中に焼き芋屋さんとしてあげることも考えている。 ○先週、発表会に向けての話合いを始めた。自分のやりたい役を決め、イメージをもち始めて楽しみにしている。他の子の話を聞いて自分なりに考えるようになったり、イメージを共有するようになったりする様子が見られる。 ○さくらんぼ山に見張り台を作ろうと力を合わせる姿やホットボンドで松ぼっくりを使ってクリスマスツリーを作る姿などが見られる。	ねらい・内容	○友達と相談しながら遊びを進めていく ・発表会に向けて、みんなで相談したり準備したりする ・友達とイメージを共有して遊ぶ楽しさを味わう ・遊びに必要なルールや決まりを考えようとする ・自分の考えたことを伝えたり、相手の考えを聞いたりする ○秋の自然に興味や関心をもつ ・焼き芋を通して収穫の喜びや秋の味覚を味わう

環境の構成・保育教諭等の援助

【環境の構成】
○発表会に向けて
・発表会が年長のみんなの共通のめあてとして位置付くように活動の進み方が子どもたちに見えるようにホワイトボードや共有スペースの環境を構成していく。壁面には発表会に向けての活動を撮影した写真を掲示し、活動の進み具合や他グループの様子が見られるようにしていく。
・役ごとのグループは自分のやりたいことを選んだので、同じ役の子たちと意見を出し合いながら、どんな内容にするのか、必要なものは何かなどを打ち合わせていく場を作る。昼食前に進捗状況を報告し合ったり一緒に弁当を食べたりすることで共通の意識がもてるようにする。
○ヒヤシンスの様子、園庭の自然環境の変化（落ち葉、イチョウやモミジの色づき）なども話題にし、季節の変わり目を感じながら遊びに取り入れていくことができるようにする。
○木工遊び
木工やホットボンドを使った製作遊びは継続して行う。先週芋掘りをしたので、芋のつるを使ったリース作りや松ぼっくりを使った飾り作り等にも興味がもてるようにする。

【保育教諭等の援助】
○発表会に向けての活動では、園児のイメージを大切にしたり、一人一人のよさを周りに伝えたりしながら、皆で一つのものを作っていくという意識がもてるようにする。
また、ほとんどの役で年長 2 つのクラスの子が混じっているので、親しみをもちながら話合いや製作を進めていけるように橋渡しをしていく。友達と一緒に作りあげていく意識がもてるように声を掛けていく。
○発表会の取組が、伝えるよさや聞くよさを体験する機会となるように心掛け、それぞれの子の意見を尊重しながら話を整理していく。
○それぞれが自分の思いを主張する中で起こるトラブルでは互いの話をよく聞いたり、伝え合ったりする場を保育者が作り、自分たちで解決できるようにしていく。また、自分たちでルールを決めながら取り組むことが解決につながることに気付くことができるように調整したり、言葉を補っていく。

○発表会に担任が関わる時間が多くなるので、他学年の保育者と連携をとりながら、個々の子どもの様子を把握する。
○徐々に寒くなってきている。手洗い、うがい、衣服の調節、ドアの開閉等、寒い時期ならではの配慮をしながらみんなが気持ちよく生活できるようにしていく方法を考えていく。
○1 日の流れはホワイトボード等を利用して伝え、見通しをもって生活できるようにしている。自分で片付けや集まりの時間を意識し、時計や数字に興味や関心がもてるようにしていく。

【行事・その他】
○誕生会　21 日
・11 月生まれの子をお祝いする。
・小学校の PTA コーラスを聴く。
○どんぐり文庫、２学期最終貸し出し
○歌

	19 日（月）	20 日（火）	21 日（水）	22 日（木）	23 日（金）
活動	○焼き芋 ○発表会に向けての活動 ・必要なものを作る・どんなことをするのか役の中で考える ・役の子と弁当を一緒に食べる	○発表会に向けての活動 ・必要なものを作る ・進捗状況を伝え合い、役の子と一緒に集会室で弁当を食べる	○誕生会 ○おやつ（せんべい）を食べる ○発表会に向けての活動 ・必要なものを作る	○発表会に向けての活動 ・必要なものを作る ・役ごとに分かれてやってみる ○どんぐり文庫	勤労感謝の日
		誕生会：10:00 開始	どんぐり文庫：２学期最終貸し出し		